

yamabuki 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No.62
平成 19 年 10 月 11 日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

『すべての教科で情報教育を』

これは、「すべての教科で情報教育をしましょう」というより、「すべての教科で教えている内容の中に、情報教育として見ることができるものが含まれていて、それは分類で言うところなんです」という意味に取ってください。授業で、ちょっと情報教育を意識してみるといいと思います。

文科省は、平成14年6月の、『情報教育の実践と学校の情報化』という資料で、情報教育を、大きく次の三つに分類し、更に、平成18年8月の資料では、それぞれを分けて、全体で8つに分けて、教科の内容を分類整理しています。(前者は、学校に印刷したものがあります)

情報活用の実践力

- 課題や目的に応じた情報手段の適切な活用
- 必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造
- 受け手の状況などを踏まえた発信・伝達

情報の科学的な理解

- 情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解
- 情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解

情報社会に参画する態度

- 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響の理解
- 情報モラルの必要性や情報に対する責任
- 望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度

この情報教育としての分類をふまえ、NICER(教育情報ナショナルセンター:情報教育ではありません、教育情報です)では、今ある教科の内容を整理して一覧にしています。

資料も豊富で、文科省の出している上記資料へのリンクもあります。普段の授業の中で情報教育として見ることのできる内容がたくさんあることがわかります。時々ご覧になってみてください。



「情報教育に係る学習活動」

(NICER、文部科学省「初等中等教育における教育の情報化に関する検討会」より)

<http://www.nicer.go.jp/it-edu/contents/subject.php>